

◎ 第2期宮城県医療費適正化計画(最終案) 正誤表

【 参考資料1 】

※ 本表は、資料2・3に記載の御意見に基づき計画を修正しました他に、訂正並びに修正しました項目を一覧にまとめたものです。
 なお、軽微な誤字や修正については省略しています。

章・節	タイトル	見出し	該当 ペー	正 誤 表		修正理由等
				修正前(計画素案)	修正後(計画最終案)	
第1章第2節	2 計画に記載する事項	2つ目の○ 目標の定め方	2	「～強化を図ること等による入院期間の短縮、 <u>都道府県が積極的に、安心して後発医薬品を使用することができる環境の整備によって、医療費の適正化を目指すこと等が考えられる</u> 」	「～強化を図ること等により、医療機関における入院期間の短縮を目指すこととする。さらに、 <u>都道府県独自の判断でその他医療費適正化に資する取組を行うことが有効である</u> 」	国の基本方針を移記
	4 計画における東日本大震災の影響等	2つ目の○ 目標値の設定	4	「一方で、震災によって特に心のケアを必要とする県民～」	「一方で、震災の影響によって医療を必要とする県民～」	修正
第2章第1節	1 医療費の動向	(1)全国の国民医療費の状況	5		注釈として、「国民医療費」の意味を記載(一番下段)。	追記
第2章第2節	2 メタボリックシンドロームの状況	メタボリックシンドロームの診断基準	13		「メタボリックシンドロームの診断基準」の表を追加。	追加
第2章第3節	1 病床の状況	1つ目の○ 人口10万対病床数	15	「～ <u>100床以上</u> 少なくなっています。」	「～ <u>123.7床</u> 少なくなっています。」	修正
		図表(いずれも)	16	「年度」による推移	「暦年」による推移 ※ いずれも、暦年による公表値。	訂正
第2章第4節	○ 平均在院日数の状況	図表	20	「年度」による推移	「暦年」による推移 ※ 暦年による公表値。	訂正
第2章第6節	1 現状と課題の総括	総括表	23	生活習慣病やメタボリックシンドロームの状況 「現状」1つ目の○ 「 <u>生活習慣病は、本県における死因別割合では約6割を占める状況になっています。</u> 」	生活習慣病やメタボリックシンドロームの状況 「現状」1つ目の○ 「 <u>本県の生活習慣病における医療費(国保)に占める割合は3割弱となっています。また、特定健診受診者の高血圧、脂質異常症、糖尿病の治療薬の内服者の割合は、全国としても高い状況にあり、年々増加傾向にあります。</u> 」	修正

章・節	タイトル	見出し	該当ページ	正 誤 表		修正理由等
				修正前（計画素案）	修正後（計画最終案）	
第2章第6節	1 現状と課題の総括	総括表	23	生活習慣病やメタボリックシンドロームの状況「現状」3つ目の○ 「生活習慣病発症前の段階であるメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合は、沖縄県に次いでワースト2位となっています。」	生活習慣病やメタボリックシンドロームの状況「現状」3つ目の○ 「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合は、沖縄県に次いで全国ワースト2位となっています。」	削除 追記
	2 第1期医療費適正化計画における進捗状況	表	24	救急搬送時間 現況値 39.1分(H22) 目標値 37.4分(H22)	救急搬送時間 現況値 40.1分(H23) 目標値 38.1分(H23)	医療計画との整合性を踏まえ、修正
第3章第2節	1 県民の健康の保持の推進	(1)一次予防の推進	27	現状と課題 2つ目の○ 「朝食欠食者の割合は、男性では20～30代が約3割となっています。女性でも20代の割合が高く、更には40代の割合も高い傾向にあります。」	現状と課題 2つ目の○ 「朝食欠食者の割合は、男性では20～30代が約3割となっており、女性では20代の割合が高くなっています。」	修正
			30		注釈として、「脂肪エネルギー比率」の意味を記載（一番上段）。	追記
			30	目指すべき取組の方向性 1つ目の「・」 「肥満傾向児の割合が～」	※ 「第2次みやぎ21健康プラン」における取組の方向性ではなく、別立てとして記載。	修正
			33	※ ねんりんピック部分	※ 開催日に曜日(土曜日)を追記。 ※ 本文中、愛称(「ねんりんピック」)を追記。	追記
			34	※ ねんりんピック部分(一覧)	※ 選手団数を修正(確定値)。 ※ 参加者数に記載していた「平成24年11月5日集計時」を削除。	修正 削除
			37	図表 「公共施設における受動喫煙対策の年次推移」	※ 図表に割合の数値を追記。	追記

章・節	タイトル	見出し	該当ページ	正 誤 表		修正理由等
				修正前（計画素案）	修正後（計画最終案）	
第3章第2節	1 県民の健康の保持の推進	(1)一次予防の推進	37	目指すべき取組の方向性 1つ目の○ 3つ目の「・」 「～児童・生徒のリスク～」 5つ目の「・」 「喫煙防止、禁煙支援や～」	目指すべき取組の方向性 3つ目の「・」 「～児童・生徒の喫煙のリスク～」 5つ目の「・」 「妊婦や未成年者の喫煙防止、禁煙支援や～」 ※ 下線部分を追記。	追記
			37	目指すべき取組の方向性 2つ目の○ 「～医療関係者や保険者との協働による健康への悪影響～」	目指すべき取組の方向性 2つ目の○ 「～医療関係者や保険者との協働による喫煙の健康への悪影響～」 ※ 下線部分を追記。	追記
			39	目指すべき取組の方向性 1つ目の「・」 「働き盛り世代に対しては、 <u>多量飲酒の健康の影響などについて健診実施後の情報提供及び保健指導の実施の他、職域保健と連携し、適正飲酒やアルコールと健康についての正しい知識の普及啓発を行っていきます。</u> 」	目指すべき取組の方向性 1つ目の「・」 「 <u>多量飲酒の影響などについて、働き盛り世代に対しては職域保健と連携し、適正飲酒やアルコールと健康についての正しい知識の普及啓発を行います。</u> 」	訂正 (表記を「第2次みやぎ21健康プラン」と同一とする)
			39	目指すべき取組の方向性 2つ目の「・」 「未成年者の飲酒防止～」	※ 「第2次みやぎ21健康プラン」における取組の方向性ではなく、別立てとして記載。	修正
			43	現状と課題 4つ目の○	※ 特定健診の受診者数の数値変更。	訂正
	(2)二次予防の推進	43	図表 「特定健康診査の実施状況」	※ 全国値の他、本県の状況を表に追加。	追記	
		44	現状と課題 3つ目の○	※ 特定保健指導の対象者数、終了者数の数値変更。	訂正	
		44	図表 「特定保健指導の実施状況」	※ 全国値の他、本県の状況を表に追加。	追記	
	(3)数値目標	46	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	※ 目標値に「(20年度対比)」を追記。	修正 (全国目標値と同一とする)	
	2 医療の効率的な提供の推進	(1)受診の適正化	48	図表「宮城県の後期高齢者医療費の推移」 出典:「～翌年2月診療までの11か月分となります。」	図表「宮城県の後期高齢者医療費の推移」 出典:「～翌年2月診療までの11か月分の <u>内科・歯科・調剤分の統計</u> となります。」 ※ 下線部分を追記。	追記

章・節	タイトル	見出し	該当ページ	正 誤 表		修正理由等	
				修正前（計画素案）	修正後（計画最終案）		
第3章第2節	2 医療の効率的な提供の推進	(1)受診の適正化	49 50	各図表	※ 出典の脚注に「※医科, 歯科分の統計」を追記。	追記	
			52	目指すべき取組の方向性 ⑤セカンドオピニオン外来の充実(1つ目の○) 「セカンドオピニオン外来は、重複受診の適正化のみならず、患者自らの意思決定～」	目指すべき取組の方向性 ⑤セカンドオピニオン外来の充実(1つ目の○) 「セカンドオピニオン外来は、患者自らの意思決定～」 ※ 下線部分を削除	削除	
		(2)平均在院日数の短縮	55		目指すべき取組の方向性 1つ目の○ 「また、第6次宮城県地域医療計画では、二次医療圏がこれまでの7医療圏から4医療圏に再編されることとなったことから、～医療提供体制の推進を図っていきます。」		追記
			55	目指すべき取組の方向性 2つ目の○ 「～平成22年における救急車による～救急搬送時間(病院収容所要時間)は39.1分であり、全国平均の37.4分と比べ約2分弱の遅れとなっています。」	目指すべき取組の方向性 2つ目の○ 「～平成23年における救急車による～救急搬送時間(病院収容所要時間)は40.1分であり、全国平均の38.1分と比べ、2分の遅れとなっています。」	医療計画との整合性を踏まえ、修正	
			56 57	参考資料(第6次宮城県地域医療計画)	※ 医療計画最終案に基づく、項目、表記の修正。 (内容については軽微なものであり、記載省略)	修正	
			63		注釈として、「小規模多機能型居宅介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「複合型サービス」の意味を記載(一番下段)。	追記	
			65 66	現状と課題 2つ目の○ ※ 本県における在宅医療関係機関の現状	※ 各施設数を訂正。 (医療計画との整合性)	訂正	
		(6)数値目標	73	救急搬送時間 現況値 39.1分(H22) 目標値 37.4分(※H22全国平均)	救急搬送時間 現況値 40.1分(H23) 目標値 全国平均と同時間	医療計画との整合性を踏まえ、修正	